5 一本のヘチマに３つのみがなりました。いちばん早くできたみの中を調べたら，白いたねばかり出てきました。正しいものを一つずつえらび，□の中にその記号を書きなさい。

(1) このみの中は，どのようになっていますか。

ア．白いすじが，かたくなっている。
イ．白いすじが，ほそく，やわらかい。
ウ．白いすじが，みられない。
エ．白いすじが，たねのまわりにだけついている。

□ ⑨

(2) このくきになっているほかのヘチマのみをとって，中を調べました。
どんなたねがとれますか。

ア．べつのみからは，黒いたねがとれる。
イ．どのみを調べても，白いたねしかとれない。
ウ．白いたねと，黒いたねが，半分ずつとれる。
エ．黒いたねも少しとれるが，白いたねの方が多くとれる。

□ ⑩

6 つぎの文は，春，夏，秋，冬の生きもののようすをあらわしたものです。(1)，(2)，(3) のきせつにあった生きもののようすを の中から一つずつえらび，その記号を□の中に書きなさい。

(1) キクの花がさいている。 □ ⑪

(2) シバザクラの花がさいている。 □ ⑫

(3) ヒョウタンやカボチャの花がさいている。 □ ⑬

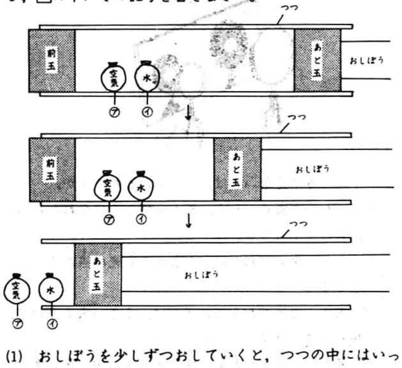
ア．アカトンボが，たくさんとんでいる。
イ．セミやアブなどのこん虫がさかんに活動している。
ウ．カエルは，土の中でじっとしている。
エ．モンシロチョウがアブラナの葉にたまごをうみつけている。
オ．あと二か月すると，ツバメがみられる。

7 冬のこし方で正しいものを二つずつえらび，□の中にその記号を書きなさい。

(1) イチョウのように，葉がおちて冬をこす植物
ア．サクラ　イ．ツバキ　ウ．マツ
エ．コブシ　オ．サザンカ
□□ ⑭

(2) たまごで冬をこす生きもの
ア．カエル　イ．テントウムシ　ウ．オビカレハ
エ．オオカマキリ　オ．フナ
□□ ⑮

8 つぎのような大きな空気でっぽうを作り，中に水と空気のはいったふうせんを入れて，前玉のとび出す理由を調べました。(1)，(2)，(3)の問題で，正しいものを一つずつえらび，□の中にその記号を書きなさい。



(1) おしぼうを少しずつおしていくと，つつの中にはいっているふうせんは，どうなりますか。
ア．㋐も㋑も，だんだんちぢんでいく。
イ．㋐も㋑もそのままで，大きさは変わらない。
ウ．㋑はちぢむが，㋐はちぢまない。
エ．㋐はちぢむが，㋑はちぢまない。

□ ⑯

(2) 前玉がとび出した後，ふうせんの大きさは，どうなりますか。
ア．㋐も㋑もちぢんだままになっている。
イ．㋐も㋑もおされる前の大きさと同じになっている。
ウ．㋐は，おされる前よりも小さくなっている。
エ．㋑は，おされる前よりも大きくなっている。

□ ⑰

(3) おしぼうを少しずつおすより，急に強くおした方が前玉がいきおいよくとび出します。その理由として正しいものはどれですか。
ア．あと玉が㋑，㋐をおし，㋐が前玉を強くおすから。
イ．あと玉が，いきおいよく前玉をおし出すから。
ウ．空気でっぽうの空気がちぢむひまがなくなるから。
エ．空気でっぽうの空気のもれが少なく，もとにもどろとする力が強くなるから。

□ ⑱